

令和8年東根市議会第2回定例会 一般質問発言通告書

令和8年7月8日（水）午前10時開議

番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	元木十四男 議員	1. ゼロカーボンシティ に向けた取組について	<p>本市は平成13年に山形県内の自治体では初めて「ISO 14001」の認証を受け、現在もその認証を継続している県内唯一の自治体である。また、令和2年1月31日には県内自治体に先駆けてゼロカーボンシティを宣言するなど、まさに地球に優しい環境先進都市である。</p> <p>さらに、東根市地球温暖化対策実行計画で2030年度までに温室効果ガスの50%削減を目標として様々な施策を展開している。しかしながら、気候変動が急速に進んでいるように感じており、温暖化防止対策を、より一層加速する必要があると考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実行計画において基本方針として掲げている「再生可能エネルギーの積極的な活用」における中心的な取組である太陽光発電設備の導入支援のこれまでの取組状況について 2. 令和元年時点で本市の温室効果ガスの排出割合は産業部門が約51%と半分以上を占めていることから、事業者の協力が不可欠であると考えますが、事業者の地球温暖化防止に対する取組への支援は。 3. 「エネルギーの地産地消」が注目を集めている中、中心的な役割を果たす「地域マイクログリッド」に対する考えや事業者への支援について 4. 環境問題に対する市民の意識向上と醸成を図るための啓発や取組としての「エネルギー・環境教育の推進」の現状と効果について 	市長

番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	山本 和生 議 員	1. 高齢者福祉の充実 「家族介護者への支援について」	<p>団塊の世代全員が75歳以上となり、国民の約6人に1人が75歳以上となる超高齢社会という深刻な局面を迎えている。本市においても医療や介護を必要とする高齢者は増加の一途をたどり、それに伴い家族を自宅で介護する家族介護者の増加も見込まれる。介護者は心身の負担や経済的不安、仕事への影響、孤立感など様々な負担を抱えることがある。そのため、家族介護者への支援は介護離職防止やメンタルヘルス維持の観点からも重要である。</p> <p>本市としてこれらの家族介護者が抱える精神的、肉体的、経済的不安をどのように捉え、救いの手を差し伸べるのか、市民からの相談をもとに行政の見解と具体的な施策について、以下の3点を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東根市における在宅介護の現状について 2. 家族介護者への負担軽減のための支援策について 3. これからの在宅介護について 	市 長

番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	植松 宏 議 員	1. 市内在住の外国人との共生及びその施策について	<p>本市に在住する外国人は年々増加傾向にあり、令和6年の資料では469人と過去最高となっている。全国的にも在留外国人数は昨年末で412万人と過去最高を更新。そのうち、外国人労働者は257万人でこちらも過去最高を更新している。</p> <p>政府は出入国在留管理基本計画で「経済社会の活性化に資する専門的・技術的分野の外国人については、積極的に受け入れていく必要がある」としており、今後もこの傾向は続くものと考えられる。</p> <p>一方、受入側の自治体として、本市に在住する外国人との共生を図るためにどうあるべきか、以下の点を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市内在住の外国人の実態について伺う。 2. 外国人の子どもの就学状況について伺う。 3. 現時点で市内在住の外国人向けの施策として、どのようなことを行ってきたか。また、今後取り入れていく予定の施策について伺う。 	市長 教育長
		2. 学校規模の適正化について	<p>鈴木市長は立候補時点から学校規模の適正化を政策の一つに挙げているが、特に子どもの数が減っている東部、西部地区の小中学校の今後をどのようなイメージで捉えているのか伺う。市民の声を聴くことからスタートしたいという考えがあるようだが、そのスケジュールも含めて伺う。</p>	市長
		3. イラン攻撃が本市農業に与えている影響について	<p>米国・イスラエルのイラン攻撃を発端としたホルムズ海峡封鎖の影響で、深刻な資材価格高騰、供給不足が続いている。</p> <p>本市が生産量日本一を誇るさくらんぼの生産農家でも、包装資材、結束バンド、反射シート、ハウスのビニール等、石油由来の製品の値上がりや品物不足が出ている。今後出荷期を迎える、モモやブドウなどにも影響が懸念されるが「果樹王国ひがしね」として以下の項目についての考えを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. この状況をどのように捉えているか伺う。 2. 今後の対策について伺う。 	市長

番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	森谷 俊員 議	1. 人口減少時代を見据えた東根市の未来づくりについて	<p>1. 未来の東根市に必要な機能・環境 人口減少社会において、全ての機能・環境を持つことは厳しくなっている。10年後、20年後を考えたとき、市民が安心して楽しく暮らし続けるために必要な機能や環境をどのように考えているか伺う。</p> <p>2. 現役世代の声の把握と政策反映 第5次東根市総合計画後期基本計画策定時の市民アンケートでは、LINEの活用によって回答数が大きく増加し、特に30代から50代の現役世代の回答割合が増えた。一方で住みよさの評価は、減少傾向にある。このアンケート結果をどのように分析しているか。</p> <p>3. こどもたちの定住意識 小学生から中学生になるにつれ、「将来も東根市に住みたい」と感じるこどもたちの割合が減少傾向にある。この要因をどのように分析しているのか、こどもたちの未来に何が必要と考えるか伺う。</p>	市長
5	河村 豊員 議	1. 人口減少時代における持続可能な東根市経営について	<p>1. 人口減少時代への認識と市政運営について</p> <p>2. 行政サービスの持続可能性について</p> <p>3. 市民と行政の協働について</p> <p>4. ベーシックサービスの視点から見た自治体経営について</p> <p>5. 公共施設のあり方について</p> <p>6. 市民幸福度 (Well-being) を指標としたまちづくりについて</p>	市長